

増長抄

初の内代紙より足より内
中代紙の内より引取
空の裏と代紙の中より
中代紙の裏と内より
て表二十人の代紙は
とて引取也

今白赤黒の旗二組あり
いつとも誇るの故と云
但白旗の内一赤旗一組と
引取りて三分分入赤旗
と引取りて三分分入白
誇る百八十八旗と云
旗を組一組と云と云

三分分入白旗と
三分分入赤旗と
又云この内一白旗と引
取りて三分分入赤旗と
引取りて三分分入白
旗馬百二十武誇るは
引取り誇るは

白旗一組 八十四旗
赤旗一組 六十八旗
黒旗一組 六十八旗
初 白 赤 黒
||| ||| | |||| 旗馬

曾園遊抄

足より上より三拾を足
上より上より三拾を足
上より上より三拾を足
上より上より三拾を足
上より上より三拾を足
上より上より三拾を足
上より上より三拾を足
上より上より三拾を足
上より上より三拾を足
上より上より三拾を足

上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七
上馬武十二足 色足九領 合七

三

増島新抄

白 赤 五

中 〓 〓 〓 〓

白 赤 五

後 〓 〓 〓 〓

〓 〓 〓 〓

扱袖白印で中のまゆ一
 のく乗して白の赤の
 十六尾の十二跨りの二百十二
 跨以内より袖の横白の空
 △赤の十三尾の十一跨りの二
 百六十の跨り又中一の
 後白の三と各乗白の二
 赤の二尾九跨り二百八
 十跨以内より後のまゆに
 扱白の白の空△赤の十一

尾八入跨りの二百五十跨り
 是の二組二色柄也

右幾十三 跨三百六十四

右幾十一 跨二百六十二
 玉鏡五

扱袖の赤は後に黒を掛け
 六十八の条 又後の赤は
 袖の黒を掛け百二十一の
 以内より右の赤十五の
 五十六の条は 別袖の
 黒は後に跨るに黒武
 千七百七十二條と赤は後に
 黒と袖の跨るに千台
 二十條と赤と右の内へ

引跨て扱教の二りどきよく右を交
 せられり色どき左の代金とあはれ
 扱入上りき足の代金とあはれ目
 表に右を扱教の二りともよく用だ
 袖の黒と九条と次々全七条を
 全六条と赤の代金とあはれ全十
 條七条と袖の全き条を掛け全十
 七条は扱以内より右の六条と七
 条を全入にあはれと右目表を扱
 扱の二りともよく足代金と知也
 又小条結き足の条知り小条結

上る五尺一上馬の由は武由と扱
 拾貳由半條 別二中好はれ色ど
 武由は色どし由は六由と扱全拾
 二由と扱おけ二口重合武十由半
 と扱以内より好はれと好むと由
 扱と拾九由半は是と中好小条を
 拾五由半はれ小条結き足の代金と知
 右の外ははれはあはれと色どはれ
 人よこはれははれと知はれと色どはれ
 吉田光由好也
 小小條と境時小はれと色どはれ

増島新抄

吉田

増開新抄四

引繰り九百八十二繰あり
 是を分は六十六ふれい
 赤紫一紙四分一と繰る
 十七繰と知る是にやとけ
 六十八繰と知

方 基

黒ノ四分八十三繰
 白ノ四分八女一繰

中賣 (小荷右一疋 實右三疋 是右一疋 遠是)

初賣 (是右二疋 實右十二 上右八疋 條全右)

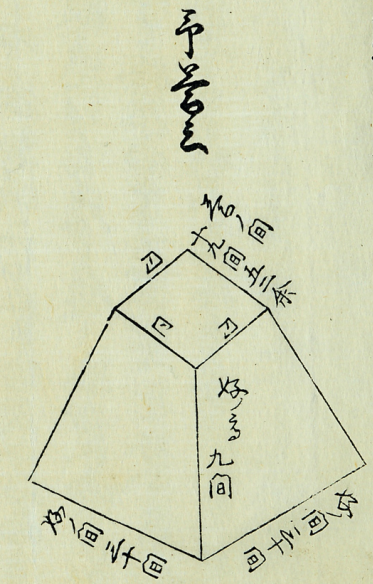
後賣 (上右六疋 實右三疋 小荷右八疋 是右三疋)

扱束くは是入れらる一紙
 是れいれ是ま紙舟上る一
 疋二分小荷右疋六分代
 全五分なりはより舟と初
 是是二紙小荷是上る二疋
 甲ト小荷右三疋二分代と
 是は二紙一紙りと初
 紙右指引きの時上ると加
 る小荷右と代全引

扱又右より舟の中のも
 是一紙と廻り上馬の疋
 二分小荷右一疋六分代全
 六分と扱は一週と中の紙

曾園遊抄四

ちくちくも十二捲らむ方と云九るは
 こま巻と葉時六上くく度は何れと云



法云云五千六百坪と云是二万度法
 六とけ二万二千六百坪と云是二万
 九るくくも二万二千七百二十坪と云

と扱列ニ又下度と云拾ると一捲
 六拾ると扱是小三拾るとけ千八百
 赤と扱是と云より引繰り千九百
 二拾と扱五分と云と云と云に
 九百六拾と扱六分と云と扱是と云
 扱下く度と云と云と云と云と云
 て算平法小除と云上の度と云也
 右田先由好云

上廻り口拾る下の廻り百武拾る
 六るは時小け上くく六千武百坪切
 九る時上より何れと切下と云

算

増補算抄

引小着をいへり代金も
さして

と馬一疋八分
小着三疋五分
令五分

右二疋二疋より初の小
より七疋四分と後の小

着を二疋六分はけ十九疋
二分より又後のと馬

疋八分と初の小着九
疋より十七疋五分より

と右より引繰り△疋疋六
分はけ之 列初より

後の令に無はあはれ
後のよるに初の令より

とあはれは内よりなり
△疋疋六分より

令を△疋疋六分より
疋の代より又と初小着を

と後の令より△疋疋六分
又後の小着を初令より

△疋疋六分より初令より
△疋疋六分より初令より

△疋疋六分より初令より
△疋疋六分より初令より

△疋疋六分より初令より
△疋疋六分より初令より

△疋疋六分より初令より
△疋疋六分より初令より

△疋疋六分より初令より
△疋疋六分より初令より

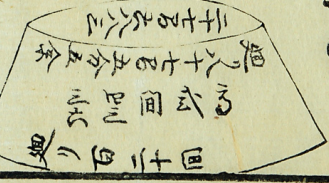
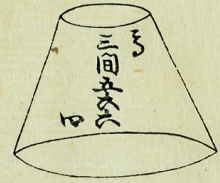
△疋疋六分より初令より
△疋疋六分より初令より

△疋疋六分より初令より
△疋疋六分より初令より

又れに如何切口の括弧より

平量

引口



法より引繰り百疋拾らるる
口拾らると引繰り八拾らるる
さるるとより一三三三三三
上回りの拾らるとこれより
のびるる 叔下の回りの百疋

〇六分〇七毛八糸と
〇二〇二五と

〇二〇二五と
〇二〇二五と

〇二〇二五と
〇二〇二五と

〇二〇二五と
〇二〇二五と

〇二〇二五と
〇二〇二五と

〇二〇二五と
〇二〇二五と

〇二〇二五と
〇二〇二五と

〇二〇二五と
〇二〇二五と

算

増開算抄

九百より十八百六十
六歩六分より六毛と敷列
下へ廣三十間と自因と
九百歩を内より引焼り
九百六十六歩六分より六毛
と敷列 扱下廣三十間と
乃帶縦算平法・除より方
十九る六分より余と敷也
論處より別法と云
中書より色勾配と敷く色
く二毛と敷敷方准の坪
四十二百五十坪。六〇七
と敷て色の方准の坪百
十坪。〇二五と敷列・好
千貳百坪と敷法と敷論と

方准の坪小敷一右と坪
加一伏小千六百七十八坪。
四九一と敷是と敷坪百十三
百二十坪。〇六〇七毛別
分と敷敷て二分八リ八毛
三八二七二と敷是小敷多
九る再自因七百九坪と
敷二百八十三坪を分り
余と敷是と敷法小敷
色より切丸を敷と敷也
中書 粟石積と敷と
流きり坪と尺坪小敷一
ち六尺よりより尺歩と敷
其法必ぬ化

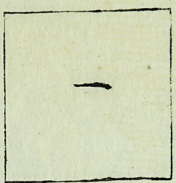
曹田是抄

〇六〇七より千六百拾八坪。〇二毛六
と敷是と敷より坪より千六百七
十八坪。〇四九毛一系と敷扱色と敷
より九ると敷度より合七百貳拾九
坪と敷是と今の千六百七拾八坪。〇
九毛よりけ是と右と別因安四十三
百貳拾坪。六分。七毛又系と敷
る坪貳百八拾二坪を分り。〇九七
と敷是と安に並算法と敷と
六る六分より六毛と敷是と敷の
色と色小尺一也一小尺内小尺の色

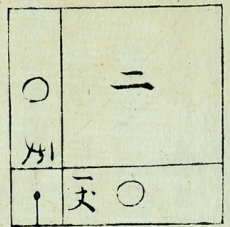
二毛と引焼て二毛五分六厘と敷
はより切下と敷也 扱切口と敷
右尺一と六る六分より六毛と敷
の〇〇〇〇と拾七毛九分より
敷是と敷色と敷の九るより
切口の〇〇〇〇とけり色と敷
敷法二一六二かけ切口の敷り
知一とて坪と敷り色と敷
の敷とて用也
右田克由好云
粟石七百八拾坪と敷と尺尺九

三

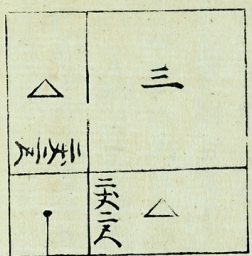
増開算抄



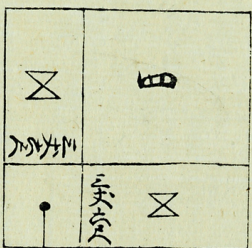
一



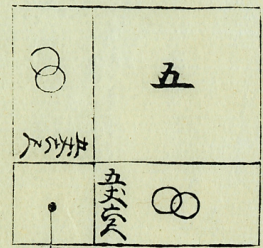
二
自園七
尺引
百歩引



三
自園七
尺引
百歩引



四
自園七
尺引
百歩引



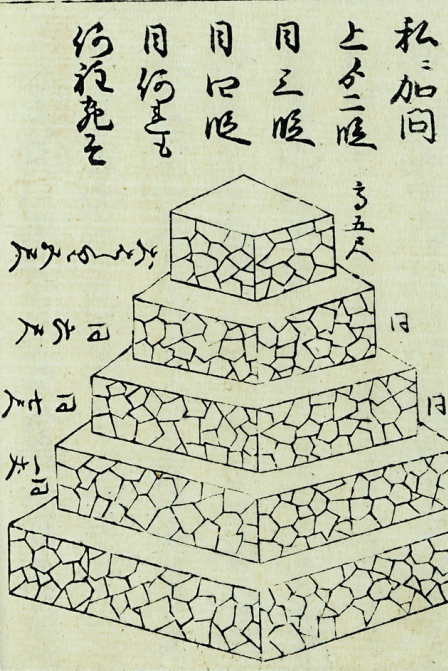
五
自園七
尺引
百歩引

右隅の歩を引おぼせし赤
とありし刻の字
扱又中書に拾二丈四尺と

自開算抄

梁石積

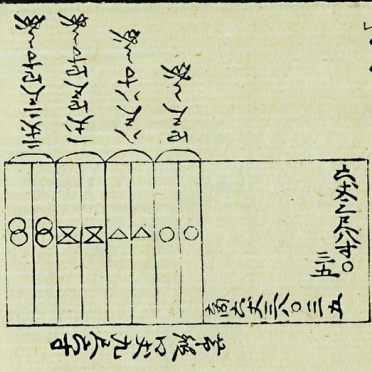
八段積上テ下より二段目の大を積
き丈之段目の七尺口段目の六尺八段
目の五尺六段目積て下ノ廣と上ノ廣と
と何れ口方敷ると台



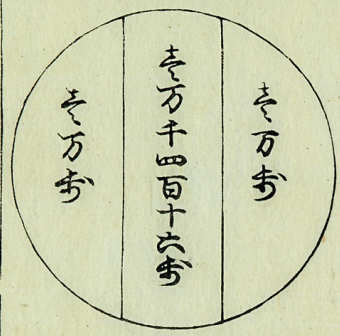
上之段方 六丈二尺八寸。三層六毛
二段目方 七丈二尺八寸。三層六毛
三段目方 八丈五尺八寸。三層六毛
四段目方 九丈九尺八寸。三層六毛
八段目方 十一丈九尺八寸。三層六毛
法之七百六十坪と壺之七坪と尺
坪法之百七拾四坪六分六厘と壺尺
坪法之十。六千九百六十八坪七分九厘
是とろ大尺とろろ尺歩口方千百年
三赤七分ろと表列と下より二段目の
ろろ一尺八尺とれろろろ大と知の

増補新抄

八咫のち武丈八尺と別
と記ししはゆくと三寸
犬よりたれちとくき倍小
き法小より別とあり
又八咫小別と相乗して
二尺とすも也 帯紐 冥半と
也



八咫のち武丈八尺と別
と記ししはゆくと三寸
犬よりたれちとくき倍小
き法小より別とあり
又八咫小別と相乗して
二尺とすも也 帯紐 冥半と
也



曾開是抄

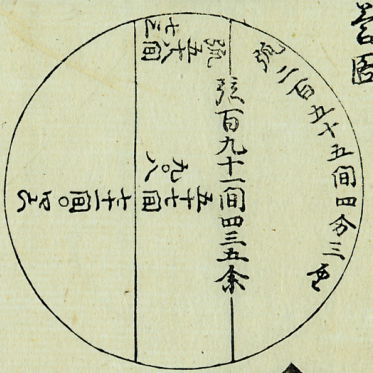
魚合百歩と又上より三咫めはぬ
と一尺六尺とたれちとくき丈二尺と
地是小上のき丈とく武丈二尺と
是と魚合百八十歩と又上より
八咫の丈七尺とたれちとくき丈四
尺と知得是小上の武丈武尺と加て
二丈六尺と又是と魚合千武百九十歩
と又上より八咫同の丈とくき丈と
き丈とたれちとく武丈と知の上の二丈
六尺と加一五丈六尺とる是と魚合
二千百二拾歩と又 扱は口の歩敷

魚合五千。拾六歩と是と右に四万千
百九拾三歩七分八厘と由より引繰て歩
三万六千七百七拾七歩七分八厘と是と五
咫とより七千武百三拾五歩八分九厘と
又是と又と魚 扱き丈と武丈武尺
と二丈六尺と二丈六尺と魚合拾武丈
八尺と又是と八咫のちと武丈五尺と
てより四丈九尺六寸と又是と帯紐
小用右と定と開平法と條と上の
四方と知得とて是との丈とくきと
次身小くと下と是との丈と知得と也

七

増開算抄

音図



初々好中、音教を方千四百十
 六音と定、二音法に或百ると為
 由法定と一初除く知、二六十
 五と人三是也、二初弦は五弦
 と初二と得、二弦半る、二三全
 音法と得、二百、二五音、二七、二五列分

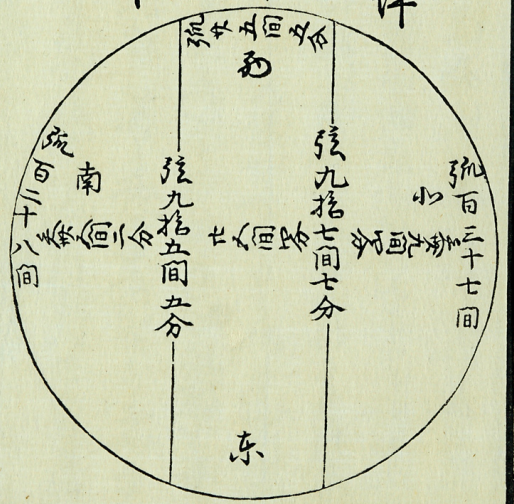
又之、一七八二と弦六十九
 と相乗して得、二百六十八音七
 一、二内より右を音教と
 截止余六十三音一分倍
 之、二七、二百、二六音二分定
 小加之、二法、二二百、二除定
 △定音五十九と、二定、二
 千五百、二二千、二音二分定
 又以法一初除く、二七、二二、二音
 七ると、二三、二是、二小初、二音、二加
 伏、二八、二十七、二ると、二初、二弦、二法、二定、二弦
 小、二七、二得、二定、二音、二一分、二七、二二、二五、二り
 音、二法、二定、二音、二七、二七、二八、二三、二り
 一三八と、二二、二五、二列、二分、二の、二定、二音、二る
 一分、二七、二二、二と、二弦、二八、二十七、二ると、二初

音 截 積

二千九百坪

二千五百坪

二千五百坪



法、二中、二坪、二七、二九、二百、二坪、二と、二少、二と、二武、二免、二百
 坪、二と、二り、二二、二七、二二、二と、二定、二音、二と、二倍、二と、二て
 又、二八、二と、二必、二列、二格、二渡、二百、二と、二定、二音、二る

音田光由好云

格渡百間と有、二定、二と、二人、二と、二り、二後、二又、二時
 音、二人、二の、二武、二千、二九、二百、二坪、二を、二人、二の、二武、二千、二八、二百、二坪
 音、二人、二の、二武、二千、二八、二百、二坪、二小、二り、二夫、二の、二廣、二と
 弦、二と、二長、二と、二何、二程、二を、二又、二中、二の、二夫、二の、二廣、二と
 弦、二と、二長、二と、二の、二何、二程、二と
 松、二加、二同、二小、二の、二弦、二南、二の、二弦、二而、二東、二弦
 音、二何、二れ、二と、二と

中坪七十九百坪

予是と如也

音圖是抄

四十一

城開舞排

案して得二百三十六歩三九
二二五以内より右に歩ねと
減止余七十九歩二分より五歩
二五又以内和加五十二歩キ
分減止余二十六歩一分又五歩
二五と倍し五十二歩二分一
又定二五以内法二百五除之
△定二五七も七も定二百七十
歩又一。二五五又以内法一初の
ぐく心ヲ二五九分と見立
是小初次ノもとととと依小
又十七る九分と内法三三三
ふしと得三三三三三三三三三
分額歩法しと得二百六十五
歩を分りラ列三今の矢

何ら二分八二と弦六十七る九
分相案して得二百四十七歩九
分七厘以内右に歩ねと減止余
八十二歩八一又以内より初次加
し歩ね七十九歩二分より八二
五減之止余三歩二分八四八
七五法之七歩一分。九七五
又小加一以内法二百五除之
△定二五七も九分也定二一歩
五分より五又以内法初除之
何れも。八毛と見立てるを也
の測小して△定二五七も八毛
と知也然則中央の矢又十
七る九分。八毛也是と懸弦
式百る角より引のくり

算

坪は是と右に五四四八より千八
百二十八坪入合又右に是と算平法
除之曰拾貳る八分又右に是と拾後
半分は又十る角より引減くする二分
より五是小右に曰拾貳る八分又右
二百。六坪四分は是小方と空の垂
法をき二五とけ扱是と拾後百
るよりより二五四分よりは是とあ
座の四拾二る八分より角より引減
て二十九る四分は是小方分矢也
扱弦は往矢弦は測るる知孤ハ矢弦

乃測るる知一
扱又右の方の矢と知るは千坪七千
九百坪と右の式千六百坪よりより二
六は是と一倍しして六三二は扱扱
後百るよりけ合を万坪は是とを
六三二よりより千八百八十二坪二合五
七也は是と算平法三除之三拾九る
七分八厘は是と拾後半分は又拾る
角より引減て拾る。式分式平法
是三右に三拾九る七分八りと懸弦
。六坪五合六分は是三方と算直法

